

梵字悉曇伝授並びに悉曇灌頂・許可灌頂

～坂井榮信悉曇阿闍梨相承 澄禅流梵字・智満流梵字伝授～

伝授悉曇阿闍梨：種智院大学副学長 児玉義隆 僧正

謹啓 諸大徳各位におかれましては、二利双修の御事と大慶に存じ上げます。

今般、醍醐寺におきましては令和6年10月1日(火)、2日(水)を第一会として、梵字悉曇伝授を開筵いたします。伝授悉曇阿闍梨には、種智院大学副学長・教授、智山派永福寺住職の児玉義隆僧正をお願いしております。児玉義隆僧正は後に記します通り、梵字悉曇の第一人者であり、各所で伝授を開筵されています。この度、醍醐寺で行って頂く伝授は、澄禅流と智満流の2流です。同時に、慈雲流や、長年研究されている大師流についても触れていただくことになっております。正に児玉僧正がこれまで研究されてきた「梵字悉曇」の集大成と言える伝授です。その全てを相承していただきまして、今回の受法者の中から次世代の悉曇阿闍梨が輩出されますことを祈念して開筵する次第です。

また、本来であれば伝授は面受が原則ではございますが、悉曇灌頂入壇のための検定があることや、法流伝承の一助となることを考慮し、遠方の方や伝授の日程が合わない方のために、Zoom配信で受法することを児玉僧正から許していただきました。受法者の皆様には何らかの形で十二会全てを漏らすことなく授かることができるように工夫をいたしますので、どうぞ安心して受法ください。

つきましては下記の要項を熟読のうえ、期日までにお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

どうぞこの法縁を逃すことがないように、万障お繰り合わせのうえ、受法していただき研鑽を重ねていただければ幸甚に存じます。

合掌

児玉義隆 僧正

昭和24年生まれ。昭和48年より坂井榮信師について梵字悉曇を学ぶ。昭和52年より種智院大学助手、講師、助教授を経て、現在、種智院大学副学長・教授および嵯峨伝灯学院講師。真言宗智山派 永福寺住職。平成20年10月、密教学芸賞受賞。元智山専修学院講師および元仁和密教学院講師。長年梵字悉曇の研究に携わり、多くの後進の指導にあたる。梵字悉曇における第一人者である。

記

1. 日程

第一会 令和6年10月 1日(火)～10月 2日(水)

第二会 令和6年12月17日(火)～12月18日(水)

第三会 令和7年 1月21日(火)～ 1月22日(水)

1日目 午後1時00分～午後4時00分

2日目 午前9時30分～午後4時00分

【Zoomでの視聴について】

※十二会とも当日視聴が可能にいたします。また、伝授後にも受法者全員にZoom収録したものを配信いたします。視聴期限は、各会とも次の伝授日までとさせていただきます予定です。

※第四会以降の日程は未定です。

※伝授は約三年かけ、各会2日間の日程で全十二会を予定しております。

※十二会の伝授ののち、悉曇灌頂と許可灌頂を行います。

印信十二通、血脈二通、許可五等至は悉曇灌頂入壇時にお渡しいたします。

※宿泊はそちらでお手配ください。醍醐寺の宿泊施設はご利用になれません。

※ご来山者の2日目の昼食は、当方でご用意いたします。

2. 会所・道場

梵字悉曇伝授：総本山醍醐寺 三宝院(白書院、研修棟、修証殿2階のいずれか)

悉曇灌頂・許可灌頂：総本山醍醐寺 三宝院道場

3. 衣体

僧侶：黒衣、如法衣(Zoom当日視聴者は改良服)

寺族：平服 ※特に問いませんが、ご配慮願います(輪袈裟未着用でも可)

4. 資格対象者

受法者を①僧侶(已灌頂者)、②寺族関係者(未灌頂者)に区分し、受法の条件を次の通りに定めます。

① 僧侶(已灌頂者)：悉曇灌頂・許可灌頂までを受法

② 寺族関係者(未灌頂者)：十八章まで受講可

※寺族の方、他宗派の方も受法できます。

※悉曇灌頂・許可灌頂は已灌頂者のみ入壇できます。

5. 定員

70名

6. 教本・伝授次第類

『梵字必携』 児玉義隆著 (朱鷺書房)

『悉曇字母表』

『悉曇摩多體文』

『悉曇十八章双紙』

※こちらで準備いたします。

7. 伝授・講義の実施内容

第一会	梵字の伝来と受容	澄禅流・智満流の概説
第二会	梵字悉曇学	摩多体文の解説と実習
第三会	十八章の実習①	澄禅流Ⅰ 第一章～第七章
第四会	十八章の実習②	澄禅流Ⅱ 第八章～十四章
第五会	十八章の実習③	澄禅流Ⅲ 第十五章～第十八章
第六会	十八章の実習④	智満流Ⅰ 第一章～第七章
第七会	十八章の実習⑤	智満流Ⅱ 第八章～十四章
第八会	十八章の実習⑥	智満流Ⅲ 第十五章～第十八章

※寺族の方は、第一会から第八会まで受講できます。第九会から第十二会までは受講できません。

第九会	毛筆書きの書法
第十会	刷毛書きの書法(澄禅流)
第十一会	悉曇曼荼羅の製作 1
第十二会	悉曇曼荼羅の製作 2 梵字僧名の書き方等
灌頂会	悉曇灌頂・許可灌頂

※内容に変更が生じる場合もありますが、十二会を一応の区切りとさせていただきます。今回の伝授は二つの流を相承していただきますが、十二会で収まらないことも予想されますので、この場合には追加で伝授を行います。

8. 検定の実施

悉曇灌頂への入壇は、十八章を書写・提出していただき、検定を経て許可されます。

9. 支具料

I. 伝授支具料	僧侶：250,000円	寺族：150,000円
II. テキスト次第料	50,000円	①僧侶、②寺族一律です
III. 悉曇灌頂・許可灌頂入壇料	50,000円	①僧侶のみ
合計	①僧侶350,000円	②寺族200,000円

※伝授で使用する次第類・テキスト代、昼食代、Zoom 配信にかかる機材費用などが含まれます。

※筆、硯、半紙もこちらでご用意いたします。

※ご来山による受法の方も、Zoom 受法の方も一律となります。

※十二会を予定しておりますが、追加で伝授を行う場合、追加の支具料が発生します。

(一会約2万円)

※申請受理後のキャンセルは受け付けません。

※僧侶(已灌頂者)は検定の可否などにかかわらず、全員悉曇灌頂・許可灌頂入壇料をお納めいただきます。

※検定の結果、悉曇灌頂に入壇できない場合でも、返金はいたしません。

※寺族(未灌頂者)の方は十八章(第八会予定)までを受講できますが、僧侶(已灌頂者)は悉曇灌頂まで受けることを前提としてお申し込みしていただきます。僧侶は、寺族の区分で申し込むことはできません。

10. 納入方法

下記のいずれかの方法でお納めください。

- ① 一括納入 僧侶：350,000円
寺族：200,000円

納入期日：令和6年9月6日(金)

- ② 分割納入 僧侶は下記のABCの3回分割、寺族は下記のABの2回分割
- A 第1回目：100,000円 納入期日：令和6年9月6日(金)
B 第2回目：100,000円 納入期日：令和7年3月28日(金)
C 第3回目：150,000円 納入期日：令和7年9月26日(金)

※申請受理後のキャンセル、返金は一切受け付けません。

※上記①、②の納入方法以外をご希望の方は別途ご相談ください。

11. お申し込み方法

下記の別紙書類を醍醐寺教学部へご送付ください。(FAX不可)

- ① 梵字悉曇伝授並びに悉曇灌頂・許可灌頂 申請書(別紙)
② 誓約書(別紙)

下記の銀行口座にお納めいただきます。

[振込先銀行口座] 京都中央信用金庫(1611) 醍醐支店(030)

普通 0924570

宗教法人 醍醐寺(シュウキョウホウジン ダイゴジ)

12. お申し込み期限

令和6年9月6日(金) 必着

以上

【お問い合わせ・お申し込み先】

〒601-1325

京都市伏見区醍醐東大路町22番地

総本山醍醐寺 悉曇伝授事務担当

教学部長 浦郷 宜右

電話.075-571-0002 FAX.075-571-0101

事務局メールアドレス daigo@daigoji.or.jp